



こんにちは ひぐち英明です

229号 2013年4月21日 連絡先：日本共産党左京地区委員会 Tel 761-6341
左京生活相談所 Tel 781-6622

ホームページ <http://www.5f.biglobe.ne.jp/~higuchi/>

京都まつりは大盛況



4月14日、宝ヶ池北園にて「京都まつり」が開催され、1万2千人の方でにぎわいました。

京都2区のテント前では、倉林明子・井上さとし両参議院候補と府市議員で一緒にガンバローの三唱。

私道の安全対策が前進

今後のさらなる拡充も検討される



修学院で相談を受けていた大きな段差のある私道の現場

「私道だけでも、地域住民がよく通る道で、危険な場所がある。京都市で対応してもらえないか」といった相談を時々受けていました。

今後、袋路や側溝の補修などについても対

これまで、街灯については土木事務所が設置をしていましたが、カーブミラーや安全柵などは対象外でした。

今回、私道の場合でも、①カーブミラー②路側線③転落防止柵について、土木事務所に対応する所まで進んでいます。



左京で行った府市政報告会

象を拡大する方向で検討が進められています。引き続き、地域のみなさんの安全対策が進むよう、議会でも求めていきます。

修学院後援会で原発見学ツアー

日本共産党修学院後援会のみなさんが、大飯原発の見学ツアーを行いました。

小浜市では、4回も原発と関連施設の誘致の



中島住職からお話を聞く

話がありました。話がありましたが、すべて住民運動で跳ね返した歴史があります。そうした運動の中心でがんばってこられた明通寺の中島哲演住職



「市民の会」松本さんからお話を聞く

と、「原発設置反対小浜市民の会」の松本さんから、40年にも及ぶ活動の貴重な経験をお聞きしました。

高野パチンコ店反対・住民集会



左京選出の府市議員6人が参加 そのうち4人が共産党でした

高野のカナート洛北の増築部分としてパチンコ屋がつけられようとしている問題は、業者が住民の願いを踏みにじりながら、計画を進めようとしています。

4月7日には2回目の住民集会が行われ、私も参加。今後、まちづくりという観点での運動をさらに盛り上げる立場で、一緒にがんばっていく決意を述べさせていただきました。

日本共産党大演説会

5月24日(金)午後7時
みやこめっせ

志位和夫委員長がお話します

ひぐち英明
ホット・コム

次女(小学3年)は、毎日国語の音読(声を出して教科書を読む)の宿題があります。

その夜は、私は仕事で留守でした。妻は用事をたくさん抱えて帰宅したので、次女に「今日はテキパキしたお母さんになります。だから、音読は適当にしておいて」と声をかけて、晩御飯の準備、自分の用事とあわただしく動き回りました。

一段落して、妻が次女と一緒にお風呂に入った時、次女が、「私はテキパキしたお母さんより、音読をきちんと聞いてくれるお母さんのほうがいい」と泣きながら訴えたそうです。

この話を妻から聞いて、子どもも向き合おうことをおそろかにしないよう、気を付けたいといけないなあ、と改めて思いました。

さて、淡路島を中心に、また大きな地震がありました。これまで未確認の活断層が動いたということが報道されています。日本はどこでも大きな地震が起こることが、再三言われてきましたが、それが立証されました。まして、日本で唯一動いている大飯原発の直下には活断層が通っていることを否定できない、というのが専門家の一致した意見です。政府が原発の危険にしっかりと向き合おうならば、大飯原発の停止と、原発の即時ゼロの決断を行わなければなりません。